

**施策名：インフラ老朽化対策**

国土交通省公共事業企画調整課  
03-5253-8912 hqt-maintenance01@mlit.go.jp

<b>分野</b>	公共・社会基盤分野での未来技術の活用	<b>総合戦略該当箇所</b>	横2-1-(2)-ix	<b>予算額</b>	令和2年度3次補正一般会計 1,283億円 令和3年度当初一般会計 7,073億円
-----------	--------------------	-----------------	-------------	------------	--

**特徴・ポイント**  
 ✓ インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき、将来にわたって必要なインフラの機能を発揮し続けるため、「予防保全」への本格転換や新技術の活用など、持続可能なインフラ管理の実現に向けた取組を推進。

**目的**

- 高度経済成長期以降に集中的に整備されたインフラは老朽化が進行しており、災害等を機にこれらのインフラが毀損すれば、我が国の行政や社会経済システムが機能不全に陥る懸念があるため、インフラの老朽化対策を加速する。


**事業の概要**

- 早期に対策が必要な施設の修繕を集中的に実施し、予防保全型のインフラメンテナンスへの転換を推進。
- 新技術の活用等により点検の高度化・効率化を推進。


**<期待される効果>**

- 「予防保全」への転換により、将来にかかる維持管理・更新費用を抑制。
- 新技術の活用等による点検の高度化・効率化やインフラの集約・再編等によるインフラストックの適正化等を推進し、さらに維持管理・更新費用を抑制。


**<対象事業のイメージ>**  
**【集中的な老朽化対策が必要なインフラの例】**



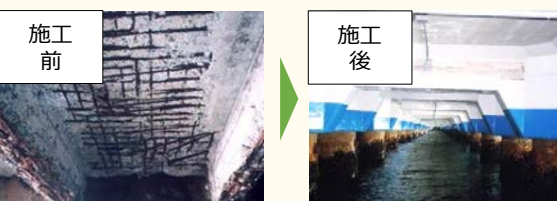
河川管理施設等の老朽化対策



道路施設の老朽化対策

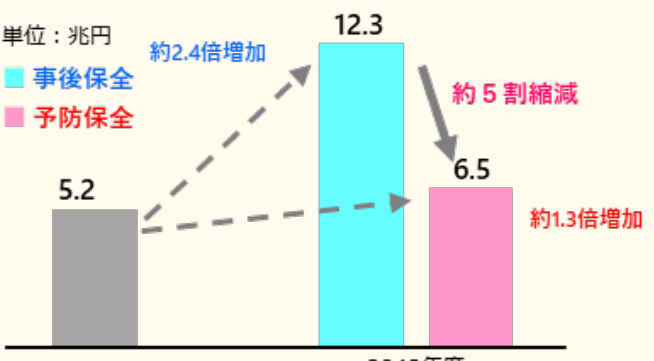


鉄道施設の老朽化対策



港湾施設の老朽化対策

**将来の維持管理・更新費用の推計**



年度	事後保全 (兆円)	予防保全 (兆円)	変化率
2018年度	5.2	-	-
2048年度 (30年後)	12.3	6.5	事後保全: 約2.4倍増加 予防保全: 約1.3倍増加 総合: 約5割削減

詳細

## 活用事例

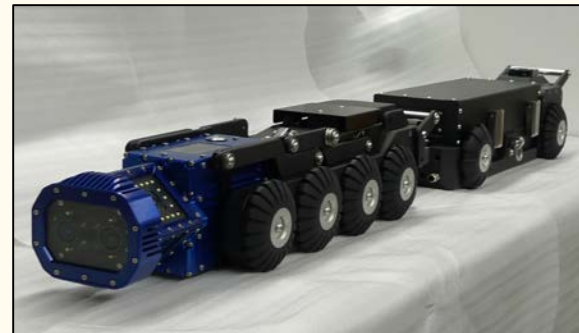
### 新技術を活用した点検の高度化・効率化



栈橋上部工下面の  
点検診断ロボット



道路橋の損傷写真を  
撮影するカメラを搭載したドローン



下水道管路の欠陥を画像認識技術により  
自動検出するロボット

### インフラの集約・再編等によるインフラストックの適正化



バリアフリーな歩道空間確保のため  
老朽化した横断歩道橋を撤去



堤防整備、排水機能の強化に  
併せて樋門を1箇所に集約



2公園廃止 → 1公園新設

都市機能の向上等に資する都市公園のストック  
再編を推進するため、地域住民の要望を踏まえ、  
利用者のニーズにあった新たな公園を設置